

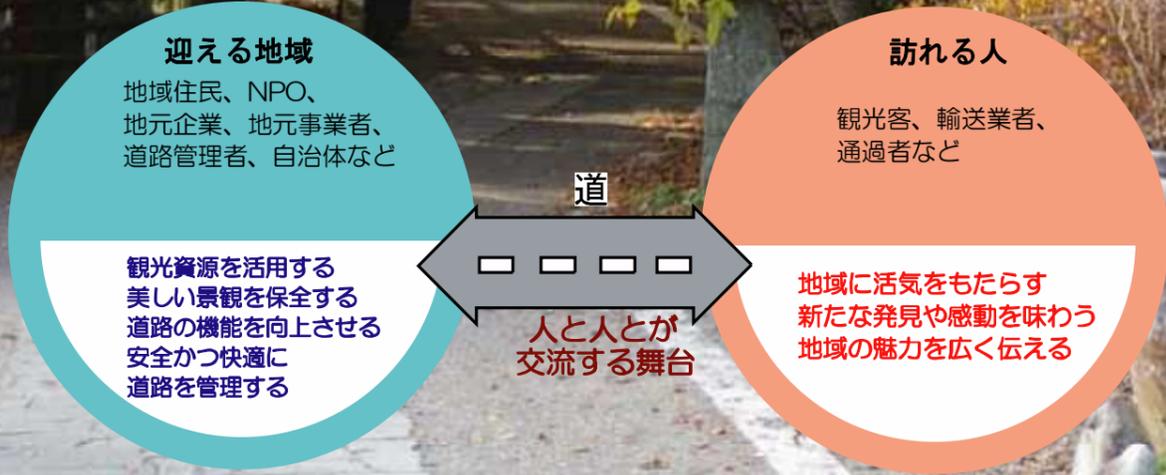
# 「日本風景街道 熊野」とは・・・

「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録（平成16年7月）されたことを受け、参詣道に学ぶ道づくりを通じて、人々の新たな交流を生み出し、美しく魅力的で活力にあふれた地域づくりを行うために、地域固有の文化や風土を生かしながら、地域に住む方々が主体となって、行政と協働し「美しいみちづくり」と「まちづくり」を目指すものです。

・・・一言でいうと「みんなでつくる美しいみちとまち」

## ◆「日本風景街道」とは・・・

- 『日本風景街道』とは日本型『シーニックバイウェイ』と言われるもので、魅力を「道」でつなぎながら、地域と行政が連帯して個性豊かな地域づくり、美しい環境づくりを目指す取り組みです。
  - 景観や歴史、文化、自然を保全・整備し、美しい道と魅力ある地域を送出しようとするものです。
  - 日本では北海道から始まり、全国的に広がっています。
  - 紀南地域では、昨年度よりスタートし、地域のみなさまが取り組む活動をサポートしています。
- ※シーニックバイウェイ：「景観のよい」を意味するシーニック (scenic) と「わき道」を意味するバイウェイ (byway) を組み合わせた言葉で 1991 年にアメリカから始まった取り組みです。



推進会議  
(事務局：紀南河川国道事務所、和歌山県道路政策課)  
企画立案等の方針設定

## ◆ 準備期間

- 平成17年6月 世界遺産「紀伊山地の霊場の参詣道」にふさわしいみちのありかた～シーニック・バイウェイに関するシンポジウム～
- 平成17年8月 紀南地域におけるシーニックバイウェイ準備会
- 平成17年10月 地区意見交換、各地域ワークショップ
- 平成18年1月 シーニックバイウェイ紀南（仮称）推進協議会 第1回準備委員会
- 平成18年2月 シーニックバイウェイ紀南シンポジウム
- 平成18年3月 シーニックバイウェイ紀南（仮称）推進協議会 第2回準備委員会

## ◆ 設立

- 平成18年3月 第1回行政連絡会議、第1回推進会議  
(シーニックバイウェイ紀南（仮称）推進協議会設立)
- 平成18年5、6月 地域運営会議
- 平成18年9月 第2回行政連絡会議
- 平成18年10月 第2回推進会議  
(名称を『日本風景街道 熊野』に決定)
- 平成18年10、11月 地域運営会議（集中月間の準備）
- 平成18年11月 集中月間を実施
- 平成19年1月 第3回行政連絡会議（集中月間の振り返り）
- 平成19年1、2月 地域運営会議（集中月間の振り返り）
- 平成19年2月 第4回行政連絡会議
- 平成19年3月 田辺周辺の団体が中心となって実施する集い『「日本風景街道 熊野」人・まち・夢』開催
- 平成19年3月 第3回推進会議

## 『日本風景街道 熊野』ロゴマークについて

平成18年11月～平成19年2月に「日本風景街道 熊野」ロゴマーク&フォトコンテストを実施しました。ロゴマークは、応募のあった33作品より左記作品が最優秀賞として選ばれました。

今後、本作品をベースに、推進協議会事務局にて文字部の編集・修正を行い正式なロゴマークとして広めていきます。

